

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年九月度 入選句（投稿総数千七百二十六句・小中学投句数千百九十三句）

特選

長島のプールから見た太平洋 大垣市 外花 そうた(小四)

長島スパーランドのプールはとても大きいですよね。きつと家族と一緒に楽しみに行かれました。たつぷりと遊んで、ふと遠くに目を移すと、青々として広々とした海が目映ったのです。それが太平洋だと知った感動が伝わってきます。いつしゅん時が止まったかのような感じを受けます。そしてまたそうぞうしい現実にもどっていくか様です。とてもスケールの大きな堂々とした句になりました。

少しだけわらってしまいきもだめし 大垣市 澤田 莉央(小四)

夏休みに友だちと一緒にきもだめしに行つたのです。入場券を買つて、まだ入り口あたりでのきんちよう感ですね。こわいけど見たい、見たいけどこわい、そんな気持ちがよく出ています。少しだけわらってしまうと言うのは正直な気持ちですが、きんちようで顔がこわばってしまう。作者友だちの前では泣きたいけど泣けない。笑いたいけど、きんちようで顔がこわばってしまう。作者は先頭で行けたのかな。

震災忌過去と未来を考える 大垣市 小塚 允寛(小六)

大正十二年九月一日、関東大震災が東京を中心に関東地方全域を襲いました。その後いく度も日本はひさんな災害にあつてきました。百年周期の大地震が来るぞと来ると言われています。でも報道でみる日本人の姿はすばらしいです。世界中のお手本と言つてもいい位です。作者の真剣な姿勢が伝わってきます。皆が考えなくてはならない事です。

秀逸

てのなかのみどりにひかるオニヤンマ 大垣市 柘植 結吏(小二)

すいかわりぼくのぼんまでわれないで 大垣市 大辻 陽太(小二)

軍配がぼくにあがつた子どもずもう 大垣市 えんどう るき(小四)

たこやきのサンプルとける炎天下 大垣市 安本 心(小四)

炎天下大阪城がそびえてた 大垣市 加藤 心羽(小四)

二尺玉ばくはつをして夏が来る 大垣市 竹内 啓太(小四)

くりご飯とってもきれいなこがね色 大垣市 深山 琴悠(小五)

運動会自分もおどろく声が出る 大垣市 関谷 晃介(小六)

台風できげんが変わる空の顔 大垣市 後藤 幸太郎(小六)

おばあちゃんサンマの食べ方美しい 大垣市 関谷 泉吹(小六)

入選

台風が予測通りにやってきた 大垣市 渡部 結衣(小六)
 もぐらさんおいものつるでつなひきだ 大垣市 大関 綾華(小二)
 こおろぎがそばのふとんとまっていた 大垣市 小川 誠悟(小二)
 赤トンボ夕日のプールのすいすいと 大垣市 みやべりんせい(小二)
 夕ぐれにすこしさみしい秋の空 大垣市 しの田 風き(小三)
 がんばってあとすこしだよありの道 大垣市 細野 桜(小三)
 明るくて手がとどきそう秋の月 大垣市 藤原 唯良(小三)
 あきの山赤いペンキをぬったのか 大垣市 大河 杏瑠(小三)
 かい猫がとても甘える夏休み 大垣市 大橋 生弥(小四)
 落ちるまでせんこう花火見つめてる 大垣市 森内 悠央(小四)

入選

干すたびに水着の色がうすくなる 大垣市 清水 優斗(小四)
 母さんに教えてもらうぼんおどり 大垣市 松村 智嘉(小四)
 大さわぎテントの中に虫入る 大垣市 國嶋 小春(小四)
 ナイターでサインボールを手に入れる 大垣市 岡島 悠佳(小四)
 とう花火来年こそは大花火 大垣市 大橋 ゆうま(小四)
 夏休み東京ドームでかかった 大垣市 川べ さくたろう(小四)
 新幹線夕焼けの空通ってく 大垣市 酒本 晃輔(小六)
 すいはんきあけたら香る栗ごはん 大垣市 高木 愛加(小六)
 ひまわりが光のようにさいている 大垣市 高井 歩乃香(小四)
 ひまわりとドクターイエロー一直線 大垣市 井伊 湧心(小三)

選者吟

星月夜赤子を寝かす母の唄

よちゑ